



～校長面接を通して～

9月初旬から始まった3年生の入試面接対策の校長面接も終盤を迎えました。校長の仕事として、大変重要であると同時にやりがいのあるものです。3年生一人ひとりと向き合い各自の将来について聞かせてもらいます。面接を始める前に私が入退室、礼法について見本を行った上で、生徒同士で面接官と生徒の役割をお互いにやって気づいた点をアドバイスしてもらいます。その後、5分程度本番同様の面接を行います。最後に生徒自身に自分の面接を自己採点してもらいます。面接の出来はそれぞれですが、全ての生徒が面接へ真剣に臨む姿勢は本当に素晴らしいと思います。そこで今回はこの面接を通して私が大切だと感じたことを書かせていただきます。

1. 準備が全て

校長面接は、スポーツの試合で言うなら、初対戦の相手との試合です。そして相手に勝とうと思えばまず相手を知る必要があります。相手がどんな攻撃をしてくるか、守備はどうやって守ってくるか、中心選手は誰か等、相手の情報を知ることが大切です。校長面接ではどんな質問をされるか、入試の面接はなぜやるのか等について知ることでしょう。

面接の振り返りで準備が全てという話をしています。相手を知ることで対策が立てられる。これが準備です。自分がやれる事全て準備したと言える所まで出来れば、心も落ち着き、しっかりと受け答え出来るようになるでしょう。

特に進路先に入学して将来の夢を実現するため具体的にやることが明確であること。将来の夢は未定だが、自分に適性を見つける手立てが明確に言えることが大切と伝えています。

2. 生徒主体

校長面接では1つ目の質問は「あなたの出身中学校はどんな学校ですか？」から始まります。9割以上の生徒が生徒主体の学校と答えています。生徒のイメージは行事等を代表の生徒が前に出て運営するというのを言ってくれます。

そこで先生方にも2学期に面接を行い、「生徒主体」の学校にするため生徒たちのどんな力を育てる必要があるかを聞かせてもらいました。この内容については今後紹介していきます。

主体性の意味は辞書等で調べると「自分の考えに基づき、自ら考え行動する」、また似た言葉の自主性は「やるべきことが決まっていてそれを積極的にやる」と書かれています。これから生徒主体の学校にするためには、まず取り組むべきことは生徒主体という意味を生徒・保護者・教職員で共有することでしょう。その上で実践が始まると考えています。



そこで企業の方が求める主体性について書かれた著書から参考になる内容を紹介します。(左側写真の本より)

- ・「自分なりに考える」「発信する」「仕事に関して協働する」が主体性。
- ・主体的に仕事をする面白さに結びつく。細かく指示されて成功しても面白くない。
- ・変化の激しい社会だから答えがない。だから主体性が必要。
- ・主体性は自分勝手に動くのではない。目標に向かって自分の考えを持って発信して、仲間と協働する。

この内容について生徒たちにも伝え、生徒と共に自分たちの学校がより良くなるために考えて行きたいと思います。

3. 失敗について

失敗がダメと感じている生徒が校長面接の振り返りをする中でたくさんいる事を感じます。今回の校長面接を失敗したら大変なことになると考える生徒が多いです。成果を出している人は決まって成功のために数えきれない位失敗をしていると語ります。そして失敗の確率があるからこそ挑戦だとも考えています。

私自身も経験上、その通り同感です。失敗は「成功するための材料・経験」と考えればいいのではないのでしょうか。その上で失敗が生きるためには、失敗した原因を自分なりに考えて、克服することが必要です。ここに先生や保護者が先回りして助けてしまわないことが大切だと考えています。自分自身で壁を乗り越える事こそが成長でしょう。

3年生必見：自転車乗車用ヘルメットについて

千葉県教育委員会が県立高校に向けて「令和8年度から自転車通学時に生徒に必ずヘルメットの着用を求める」との方針を示し、通学許可の条件とするよう通知したと報道がありました。今後、自転車通学を予定しているご家庭は早めに検討・準備をお願いします。

参考：市川市HPより抜粋：更新日：2025年11月17日

令和7年度 自転車乗車用ヘルメット購入費補助金

自転車乗車用ヘルメットの購入費用として、2,000円を補助します

令和5年4月1日から、道路交通法の改正により、ヘルメット着用が努力義務となりました。交通事故の被害を軽減するためには頭部を守ることが重要です。そこで、市民の皆様の交通安全意識の向上を図りヘルメットの着用を早期に普及させるため、令和7年度も購入費用の一部（2,000円）を補助します。

申請期間：令和7年7月1日（火曜）～令和8年2月6日（金曜）まで（但し、予算がなくなり次第終了）

対象者：対象となるヘルメットを購入した使用者（使用者が未成年の場合は、購入した保護者）購入時及び申請時に市川市に居住している方

ちばサイクルールについて



本校の学区には東京外環道路、国道14号、県道市川松戸線等交通量の多い道路があります。またJR市川駅に向かう住宅街の道路も道幅が狭いうえに抜け道として車に利用されており、危険な状況があります。これから12月になり交通量の増加も予想されます。

そこで自転車による交通事故に巻き込まれない、起こさないために改めて自転車の乗り方について確認します。自転車の乗車に際しては千葉県では千葉県自転車安全利用ルール「ちばサイクルール」というルールがあり千葉県自転車条例の内容を取り入れて制定されています。自転車を利用する際は、ヘルメットを被ることが努力義務となっています。また、ながら運転は禁止となっています。傘さし・スマホ・携帯を使いながらは大きな事故につながります。この点もご家庭でお子様と確認してください。

お知らせ：学校ホームページに学校生活の様子、給食献立、必要な連絡等を掲載していきます。日々更新していきますので、是非ご覧ください。



～地域の方たちと共に学んだ地域連携行事～

学校評価の質問「学校の活動で地域の方たちと共に学ぶ機会がありますか」について、「地域の方たち」とは学校として近隣の国府台高等学校等の連携や職場体験がここに含まれると考えています。今年度、11月までの主な連携事業を紹介します。年明けには千葉商科大学に2年生がお邪魔して、キャリア教育を行う予定です。

『国府台高校との交流』

内容：5月23日（金）1年生と高校生18名 5校時：授業見学 6校時：高校生主催の学活25分

7月15日（火）2・3年生と高校生54名 5校時：授業見学 6校時：高校生主催の学活50分

5月と7月に国府台高校教員基礎コースを受講している高校生が来校しました。各クラスに5～6名入って、授業と一緒に受け、学活では高校生が考えたレクリエーションを行いました。レクのおかげで親睦も深まり、高校とはどんなところか、中学生のうちにしておくべきこと等を詳しく聞くことができ、とても有意義な時間となりました。



解き方を全体へ説明する



個別に教える



授業内容を一緒に考える



グループで活動する



生徒の感想

- ・この受験の時期に年齢の近い、受験を経験している人から話を聞くのはとても楽しかったし、勉強になりました。
- ・英語の授業では翻訳がわからなかった時、教えてくれたり、糸のゲームで班を盛り上げてくれてありがとうございました。夏休み、勉強頑張ります。
- ・アイスブレイクで緊張をほぐしてから質疑応答の時間だったから、お互い質問しやすい雰囲気でした。入学説明会ではわからない、高校のリアル勉強方法を知ることができて良かったです。
- ・優しく接してくれました。5時間目の数学の時の解の公式の授業が分かりやすかったです。
- ・国府台高校の方の話を聞いて、受験は怖いけど、高校の楽しそうな話を聞いて、夏はほんとにがんばろうと思いました。
- ・自分が思っていた想像以上におもしろかったです。
- ・やさしくフレンドリーに接してくださり、ありがとうございます。たくさんアドバイスや情報などを教えてくれたり、平等に話を聞いてくれたりしてうれしかったです。
- ・数学を教えてもらい、いつもとは違う授業で楽しかったし、近くにいてくれたので、わからないところをすぐ教えてもらうことができた。

- ・高校生と交流したことで高校のことを知り、進路について考えるきっかけにもなりました。
- ・高校生と部活動などでも関わりを増やしてほしいです。

『国府台高校見学会』

内容：11月20日（木）テスト2日目の午後 1年生18名 2年生20名 3年生7名 計45名

5校時：授業・校舎見学 6校時：高校の先生から説明、総合の授業見学

2学期は希望者を対象に、中学生が国府台高校へ伺いました。4チーム編成で高校の先生方が案内をしてくださり、実際に教室に入って授業の一部を見学したり、高校の先生から、高校のカリキュラムや中学とは違う文化などを詳しく聞いたりしました。普段の高校生活を間近で感じることができ、通常の高校説明会では味わえない一生涯だけの特別な時間を過ごすことができました。



見晴らしの良い渡り通路



教室に実際に入り参観



英語グループワーク



高校の先生から説明

『和洋国府台女子高等学校・大学との交流』

内容：9月26日（金）放課後 2年生5名 3年生7名 保護者9名

9月に2年生、3年生の女子の希望者と保護者の方を対象に、和洋高、大学の見学ツアーを実施しました。はじめに校長先生から学校の教育理念や各コースの紹介をしていただき、高校3年生と高校の先生方が校舎案内をしてくださいました。その後、大学の校舎も見学させていただき、普段は見ることはできなかった、広大で綺麗な施設と新しい設備をじっくりと見学することができました。将来の進路を考えるきっかけとして、貴重な機会となりました。

【和洋国府台女子高等学校】



セミナールーム



広い自習室



高校3年生は全員、茶道を習う専用の広い茶室

【和洋国府台女子大学】



18階建ての大きな校舎



さとみ館は看護学部専用1人1台

ベッドで看護や介護の実技体験が可能



18階カフェテリアからの景色

たまごプロジェクトやまなびくらぶで一中に来ている和洋大学の3名から、大学生活についてお話を聞きました。



この他にも本校生徒会役員が一中ブロックの各小学校へ伺い、小学校6年生向けに一中の紹介をする取り組みや地域自治体との協力で高齢者へのクリスマスカードボランティア・夏祭り・ナイトスクールのボランティアも行っています。